

日系人就業準備研修事業の概要

事業目的

日系人が集住する地域において、安定就業への意欲及びその必要性の高い日系人求職者を対象に、日本語コミュニケーション能力の向上、我が国の労働法令、雇用慣行、労働・社会保険制度等に関する知識の習得に係る講義・実習を内容とした就業準備研修を専門的なノウハウを有する機関へ委託して実施することにより、就業に必要な知識やスキルを習得させ、円滑な求職活動を促進し、もって安定雇用の促進を図るものである。(平成21年度より実施)

研修内容

受講者の既存の日本語能力に合わせ、以下のようなコース等を設定

- ・ 日本語教育も含めた職場でのコミュニケーション能力の強化
- ・ 日本の労働法令、雇用慣行等の基本的知識
- ・ 履歴書の作成指導、面接シミュレーション
- ・ 専門分野(介護現場)において使用する日本語の習得 等

研修時間等

- ・ コース当たりの総研修時間は120時間で設定
- ・ 地域の実情や受講者ニーズに合わせ、夜間や土日のコースも設置

研修実績及び計画数

<平成23年度実績> 予算額 約8.6億円
○ 実施地域・・・15県75市町村 ○ 総受講者数・・・4,231人 ○ 実施コース数・・・290コース
<平成24年度計画> 予算額 約6.0億円
○ 実施地域・・・14県70市町村 ○ 総受講者数・・・3,000人 ○ 実施コース数・・・200コース
<平成25年度計画> 概算要求額 約6.0億円

日本語講義



就業講義



職場見学

